

令和2年度 医学科授業及び行事日程

1. 授業

1年次	新入生ガイダンス	4月 1日(水) ~ 4月 2日(木)	(2D)
	新医学研究コース説明会	4月 3日(金) 14:00 ~	(1D)
	前期授業期間	4月 7日(火) ~ 8月 5日(火)	(16W)
		※4/29(水・祝)水曜日の授業実施日, 5/21(木)月曜日の授業実施日, 7/13(月)金曜日の授業実施日, 7/14(火)木曜日の授業実施日	
	(定期試験) 【Q1】	5月29日(金) ~ 6月 4日(木)	(1W)
		※6/5(金)授業・定期試験の予備日	
	【Q2】	7月29日(水) ~ 8月 4日(火)	(1W)
		※8/5(水)授業・定期試験の予備日	
	[セメスター]	7月31日(金)	(1D)
	全学共通授業科目再試験	9月 1日(火) / 9月 2日(水)	(2D)
		※9/3(木)再試験の予備日	
	夏休み	8月 6日(木) ~ 9月 6日(日)	(4W)
	初期体験臨床実習	9月14日(月) ~ 9月18日(金)	(1W)
	地域医療学	9月30日(水)	(1D)
	後期授業期間	10月 1日(木) ~ 2月 5日(金)	(16W)
		※11/12(木)火曜日の授業実施日, 1/5(火)月曜日の授業実施日, 1/13(水)月曜日の授業実施日, 1/21(木)金曜日午後の授業実施日	
	冬休み	12月26日(土) ~ 1月 4日(月)	(1W)
	(定期試験) 【Q3】	11月20日(金) ~ 11月30日(月)	(1W)
		※11/27(金)授業・定期試験の予備日	
	【Q4】	1月29日(金) ~ 2月 4日(木)	(1W)
		※2/5(金)授業・定期試験の予備日	
	[セメスター]	1月29日(金)	(1D)
	専門科目再試験	2月15日(月) ~ 2月19日(金)	(1W)
	全学共通授業科目再試験	3月 3日(水) / 3月 4日(木)	(2D)
		※3/5(金)授業・定期試験の予備日	
2年次	ガイダンス	4月 3日(金) 9:30 ~	(1D)
	前期授業	4月 6日(月) ~ 7月17日(金)	(15W)
		※4/29(水)水曜日の授業実施日	
	定期試験	7月20日(月) ~ 7月31日(金)	(2W)
	夏休み	8月 1日(土) ~ 9月27日(日)	(8W)
	早期臨床実習1	9月28日(月) ~ 10月 2日(金)	(1W)
	後期授業	10月 5日(月) ~ 2月 1日(月)	(16W)
	冬休み	12月26日(土) ~ 1月 4日(月)	(1W)
	定期試験	2月 2日(火) ~ 2月12日(金)	(2W)
	再試験	2月22日(月) ~ 3月 5日(金)	(2W)
3年次	ガイダンス	4月 3日(金) 16:00 ~	(1D)
	前期授業	4月 6日(月) ~ 7月31日(金)	(17W)
		※4/29(水)水曜日の授業実施日	
	夏休み	8月 1日(土) ~ 9月 6日(日)	(5W)
	定期試験	9月 7日(月) ~ 9月18日(金)	(2W)
	後期授業	10月 1日(木) ~ 2月15日(月)	(18W)

早期臨床実習 2	10月26日(月)～10月30日(金)	(1W)
冬休み	12月24日(木)～1月4日(月)	(2W)
定期試験	2月16日(火)～2月19日(金)	(1W)
再試験	2月22日(月)～3月5日(金)	(2W)
4年次 ガイダンス	4月3日(金) 14:00～	(1D)
臨床医学講義3(ユニット3)	4月6日(月)～6月1日(月)	(7W)
臨床医学講義3(ユニット4)	6月2日(火)～7月16日(木)	(6W)
症候別チュートリアル	7月17日(金)～7月30日(木)	(2W)
夏休み	8月1日(土)～8月23日(日)	(4W)
症候別チュートリアル	8月24日(月)～10月15日(木)	(7W)
CBT(共用試験)	10月22日(木)(予定)	(1D)
臨床医学基本実習	10月26日(月)～12月11日(金)	(6W)
IPW関連セミナー	11月24日(火)	(1D)
IPWチュートリアル	11月30日(月)～12月4日(金)	(1W)
OSCE(共用試験)	12月13日(日)(予定)	(1D)
冬休み	12月26日(土)～1月3日(日)	(2W)
地域社会医学実習	1月5日(火)～1月14日(木)	(2W)
白衣式	1月4日(月)(予定)	(1D)
BSL	1月18日(月)～3月12日(金)	(8W)
5年次 臨床配属実習 (学内BSL)	4月6日(月)～5月1日(金)	(4W)
	5月11日(月)～7月31日(金)	(12W)
	8月31日(月)～11月20日(金)	(12W)
夏休み	8月1日(土)～8月30日(日)	(4W)
冬休み	12月26日(土)～1月10日(日)	(2W)
科目別試験	12月7日(月)～12月25日(金)	(3W)
関連病院実習	1月12日(火)～3月5日(金)	(8W)
科目別試験再試験	3月8日(月)～3月19日(金)	(2W)
6年次 個別計画実習	4月6日(月)～5月22日(金)	(7W)
	6月8日(月)～7月24日(金)	(7W)
	9月7日(月)～10月16日(金)	(7W)
個別計画実習発表会	10月23日(金)	
全人医学・ユニオンレクチャー	5月25日(月)～6月5日(金)	(2W)
夏休み	7月27日(月)～9月6日(日)	(6W)
卒業時OSCE	11月1日(日)	
卒業時OSCE再試験	12月22日(火)(予定)	
卒業試験	11月11日(水)～11月12日(木)	
卒業試験再試験	12月9日(水)	
医師国家試験説明会	10月下旬	
医師国家試験	2月中旬	

2. 行事

令和2年	4月3日(金)	入学式
	4月6日(月)	新入生健康診断
	6月5日(金)	学生(大学院生を含む)定期健康診断
	11月11日(水)	解剖体慰霊祭
令和3年	3月25日(木)	学位記授与式(卒業式)

シ ラ バ ス

(6年次用)

令和2年度 6年次授業日程表

週	日程	月	火	水	木	金				
	3月30日～4月3日	春 休								
1	4月6日～4月10日	個別計画実習 第Ⅰ期 令和2年4月6日(月)～5月22日(金)						1-1		
2	4月13日～4月17日							1-2		
3	4月20日～4月24日							1-3		
4	4月27日～5月1日							祝日	1-4	
5	5月4日～5月8日	祝日	祝日	祝日	実習報告週		1-5			
6	5月11日～5月15日							1-6		
7	5月18日～5月22日							1-7		
8	5月25日～5月29日							全人医学／ユニオンレクチャー		
9	6月1日～6月5日	※期間中に健康診断及びマッチング説明会、卒業時OSCE説明会を予定								
10	6月8日～6月12日	個別計画実習 第Ⅱ期 令和2年6月8日(月)～7月24日(金)						2-1		
11	6月15日～6月19日							2-2		
12	6月22日～6月26日							2-3		
13	6月29日～7月3日							2-4		
14	7月6日～7月10日							2-5		
15	7月13日～7月17日							2-6		
16	7月20日～7月24日	実習報告週			祝日	祝日	2-7			
17	7月27日～7月31日	夏 休								
18	8月3日～8月7日	夏 休								
19	8月10日～8月14日	祝日	夏 休							
20	8月17日～8月21日	夏 休								
21	8月24日～8月28日	夏 休								
22	8月31日～9月4日	夏 休								
23	9月7日～9月11日							3-1		
24	9月14日～9月18日							3-2		
25	9月21日～9月25日							祝日	祝日	3-3
26	9月28日～10月2日							個別計画実習 第Ⅲ期 令和2年9月7日(月)～10月23日(金)		
27	10月5日～10月9日	3-5								
28	10月12日～10月16日	3-6								
29	10月19日～10月23日	発表準備期間／実習報告週				発表会	3-7			
30	10月26日～10月30日				※11月1日(日)卒業時OSCE(本試)実施					
31	11月2日～11月6日	祝日		※11月8日(日)卒業時OSCE(追試)実施予定						
32	11月9日～11月13日				卒業試験					
33	11月16日～11月20日									
34	11月23日～11月27日	祝日								
35	11月30日～12月4日									
36	12月7日～12月11日				卒業試験(再試)					
37	12月14日～12月18日									
38	12月21日～12月25日				※12月22日(火)卒業時OSCE(再試)実施予定					
39	12月28日～1月1日					祝日				
40	1月4日～1月8日									
41	1月11日～1月15日	祝日								
42	1月18日～1月22日									
43	1月25日～1月29日									
44	2月1日～2月5日									
45	2月8日～2月12日				祝日					
46	2月15日～2月19日									
47	2月22日～2月26日	祝日								
48	2月29日～3月4日									
49	3月7日～3月11日									
50	3月14日～3月18日									
51	3月21日～3月25日									
52	3月28日～4月1日									

科目名： 全人医学 (ユニオンレクチャーと合わせて1単位)

項 目 名	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	地域社会医学・健康科学講座 (疫学分野) 准教授 篠原 正和
	連絡方法	TEL: 078-382-5541 E-mail: mashino@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	内科系講座 (医療情報学分野) / 附属病院医療情報部 准教授 高岡 裕
	役 職 氏 名	医学部附属病院 副病院長・看護部長 藤原 由佳
担当教員 (学部外)	役 職 氏 名	神戸大学大学院法学研究科 教授 井上 典之
	役 職 氏 名	神戸大学名誉教授 丸山 英二
担当教員 (学外)	役 職 氏 名	国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科 部長 安保 博文
	役 職 氏 名	西本クリニック 院長 西本 隆
	役 職 氏 名	兵庫県スモンの会 会長 春本 幸子
	役 職 氏 名	東京都中央区保健所 所長 山本 光昭
	役 職 氏 名	法務省大阪矯正管区 講師未定
授業のテーマ	身体と精神を分けて考えるのではなく、人間を心身一体のもとに全体的に捉え、さらに社会の中で存在するものとして捉える全人的アプローチを授業テーマとする。	
授業の到達目標	医療の今日的問題を通して、全人的アプローチについて理解を深める。	
授業の概要と計画	チーム医療、過去に我が国で起こった薬害の実態、法律家の立場からみた医師活動、行政の立場からみた医療・保健、代替医学、緩和医療、矯正医療といった医療の今日的問題について講義します。 第1回：チーム医療 (担当教員：藤原) 平成22年に厚生労働省から「チーム医療の推進に関する検討会報告書」がだされ、医療現場では、チーム医療の推進に向け様々な取り組みがされています。チーム医療は、“複数の職種が対等な関係でそれぞれの立場を尊重しながら協働すること”と言われていますが、実際はそうでないことも多いです。また、チームの一員である患者・家族が置き去りにされているということも多々あります。 講義を通して、①チーム医療とは、②チーム医療における多職種協働、③チームの一員としての患者・家族、について理解を深め、チーム医療について再考していきたいと思います。 第2回：わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割 (担当教員：山本) わが国の保健医療を取りまく環境の変化として、①疾病構造の変化、②少子高齢社会、③価値観の多様化、④経済の進展・低成長、⑤国際化の進展、⑥情報化の進展、⑦科学技術の進歩、⑧健康危機管理事例の多発について解説したうえで、医師と法律・行政との関わり、最近の保健医療政策の動向などについて解説する。また、厚生労働省医系技官の役割とその仕事の魅力について紹介したい。 第3回：終末期医療と緩和ケア (担当教員：安保) 進行癌を患った人は、身体・心理・家族・社会・環境・宗教・生と死への考え方など、各方面でそれ以前にはなかった問題を生じ、生活が損なわれていく。緩和ケア病棟では、患者と家族の生活状況を全体的にとらえたうえで、実現可能な患者・家族の希望を引き出し、その希望の実現のために障害となっている問題を一つ一つ解決していくか希望や問題を別の形に置き換えるとともに、患者や家族の人間関係を再構築することによって、癌によって損なわれた生活全体を改善することを目指している。今回の講義では、緩和ケアを行う上で必要な考え方を概説した上で、症状緩和の方法・難しい場面でのコミュニケーションのとり方など緩和医療の具体的な技術についてお話ししたい。	

授業の概要と計画	第4回：鍼灸（担当教員：高岡） 鍼灸治療とは、我が国の伝統医学である東洋医学の治療法であり、生薬を用いた漢方治療と一対をなしている。東洋医学では、個人個人の体質に合わせた治療や「未病を治す」を特徴とする。最近では、西洋医学での個別化医療の進展に伴い、西洋と東洋の医学の方向性は融合しつつある。これらを踏まえて本講義では、(1)相補・代替医療について概説、(2)鍼灸治療の起源や各国での医療としての取り扱い、鍼灸治療で用いる治療器具や鍼灸医学理論、(3)明治維新の医療制度改革と鍼灸（漢方）および現代での扱い等を解説する。その上で、分子細胞生物学で鍼灸を解析した結果、すなわち(4)骨格筋に及ぼす鍼通電治療の効果、特に遺伝子発現への影響と生体への効果や新たな治療法としての可能性および分子生物学的に解明された鎮痛機序、を学ぶ。そして、(5)時間的余裕があれば鍼を刺す機会、又は鍼治療について直に体験する機会を設け、多面的に鍼灸について理解出来るようにする。 第5回：矯正医療（担当教員：未定） 矯正医療とは司法手続によって犯罪者や非行少年を強制的に収容している矯正施設（拘置所・刑務所等）の中で行われる医療であり、法務省矯正局の管轄下にある。被収容者は国家権力によって強制的に拘禁されているため、その健康管理は国の責務である。疾病の予防・診断・治療は各施設に配置された矯正医官が中心となって行われ、医療費は原則国費で賄われる。健康管理がおろそかになれば、矯正教育に支障を来す恐れがあることから、矯正医療は社会医学として重要な役割を担っているが同時に様々な課題を抱えており、本講義を通して触れていきたい。 第6回：東洋医学総論（担当教員：西本） 漢方医学は、紀元前4世紀頃に中国において編纂された「黄帝内経」という書物にその原型をみるが、その後、中国国内においては中国伝統医学として発展し、それを輸入した日本においては、15世紀頃から「漢方医学」として独自の体系化がなされてきた。その特色は生薬による治療と針灸治療であるが、昨今、西洋医学の発達の一方で、西洋医学では十分な対応ができない症状や疾患に対して、漢方治療が大きな効果を挙げることが認知されてきている。講義では、漢方医学の歴史・基礎を解説するとともに、臨床医学としての漢方が、西洋医学に対してどの分野でアドバンテージを持ちえるか、あるいは西洋医学をどのように補完しうるか、について紹介していきたい。 第7回：医療・医学における倫理と法（担当教員：丸山） (a)生命倫理の基本原則について触れたあと、臨床研究を行う際に遵守すべき法令・指針について解説する。(b)医療事故による法的責任の主要なものとして、①民事責任（損害賠償責任など）、②刑事責任、③行政上の制裁について、成立の要件と結果および最近の傾向を解説する。併せて、インフォームド・コンセントの要件や個人情報保護法制の概要にも触れる。 第8回：法学的観点で見たLGBT（担当教員：井上） 最近、家族・親子関係やマイノリティーに対する不十分な理解からの政治家の発言が増えています。例えば、「LGBTは生産性がない」とか、「姓を変えるのが嫌ならば結婚しなければよい」などの女性議員の発言ならびにそれを擁護するマスコミの意見が議論を呼んでいます。そこで、ダイヴァシティ社会における性的少数者を取り巻く問題を、憲法の基本原理としての個人の尊重の具体的内容として理解してもらえるように、医学とも関連する性同一性障害の法的問題、欧州で認められた男女でない第3の性の法的承認を取り上げて講義したいと思います。 第9回：薬害（担当教員：春本） 医薬品には効果と同時に、必ず副作用があります。副作用がそれだけに止まらず、看過できない被害を人体にもたらした場合が薬害です。日本の代表的な薬害であるスモン（キノホルム薬害）を例に、日本の薬害の歴史、被害実態、日本で多発した原因などについて概説し、日常の診療の中での薬害防止について考えたいと思います。
成績評価方法	出席状況によって評価する。
成績評価基準	チーム医療、過去に我が国で起こった薬害の実態、法律家の立場からみた医師活動、行政の立場からみた医療・保健、代替医学、緩和医療、矯正医療について、理解できているか。
履修上の注意 (関連科目情報)	遅刻、私語、早期退出は認められない。

事前・事後学修	事前学修：各回の授業で取り扱う項目について、関係する書物・論文等を読んだ上で、疑問点をまとめておくこと。 事後学修：各回の授業で取り扱った事項について、関係する書物・論文等を再読し、授業で学んだことについてまとめること。
オフィスアワー・連絡先	随時受け付けます。ただし、会議や出張で不在にすることもあるため、事前に予約すること。 医学研究科研究棟C棟2階 疫学分野 金曜日午後 メールにて随時受け付けをします。篠原正和 mashino@med.kobe-u.ac.jp
教科書	講義内容に合わせて、必要ある場合は、別途お知らせします。
参考書・参考資料等	特になし
授業における使用言語	日本語

場所：大講義室

授業科目名（全人医学）

週	月 日（曜）	時 間	講 義 題 目 ・ 実 習 題 目	担当
1	5月25日（月）	11:20～12:20	チーム医療	藤原
		13:20～14:20	わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割（1）	山本
		14:30～15:30	わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割（2）	山本
1	5月26日（火）	10:10～11:10	終末期医療と緩和ケア（1）	安保
		11:20～12:20	終末期医療と緩和ケア（2）	安保
		13:20～14:20	鍼灸	高岡
		14:30～15:30	矯正医療	未定
1	5月27日（水）	10:10～11:10	東洋医学総論（1）	西本
		11:20～12:20	東洋医学総論（2）	西本
		13:20～14:20	医療・医学研究における倫理と法（1）	丸山
		14:30～15:30	医療・医学研究における倫理と法（2）	丸山
1	5月28日（木）	11:20～12:20	法学的観点で見たLGBT	井上
		14:30～15:30	薬害	春本

科目名：ユニオンレクチャー（全人医学と合わせて1単位）

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 名	医学教育学分野・総合臨床教育センター 特命教授 河野 誠司
	連絡方法	E-mail: sjkawano@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
学習到達目標	疾病構造の変化から、多くの診療科が関わるケースが医療現場では増えてきている。複数の診療科が関わる症例を選択し、各々の診療科の専門医が病態の診断ならびに治療法に関して活発に討論し、最善の方法を選択していくまでの過程を学生も参加して学ぶことを目標とする。ぜひ、チーム医療と全人的医療の大切さを学んでいただきたい。	
講義の概要・形式	横断的な症例が選択されており、幅広くさらに高度な知識が要求される。学生にも討論に参加してもらうので、テーマに対して積極的に予習をお願いする。	
	【腫瘍・血液内科学】 現在のがん治療は、抗がん剤、手術、放射線を組み合わせて集学的に行うことにより成績を向上させている。今回食道がんの症例を用いて、複数科で連携したがんの集学的治療の重要性について解説します。 ～メッセージ～ がん治療における他科との連携の重要性について学んで下さい。	
	【消化器内科学】 膵内分泌腫瘍は膵臓の上皮性腫瘍の中で2番目に多い腫瘍である。ホルモン産生の有無により機能性と非機能性に分類される。 本講義では機能性の内分泌腫瘍に焦点をあてて、膵内分泌腫瘍を疑う特徴的な症状から鑑別診断法、治療選択に至るプロセスを糖尿病内分泌内科、肝胆膵外科と共同で体系的に理解できる様に講義を行う。 ～メッセージ～ 各診療科の視点から、実際の症例をもとに診断から治療までのプロセスを学んでいただきます。	
	【糖尿病内分泌内科学】 78歳女性が徐々に増悪する四肢の浮腫と筋力低下、体重増加で来院した。精査の過程で肺に腫瘍が見つかり、手術で腫瘍を摘出したところ症状は劇的に改善した。内分泌疾患は特異的な症状や所見が見られないこともあり、知識や経験がないと見過ごされてしまうことがある。肺の腫瘍の正体は一体何だったのか？本症例を外科的、病理学的それぞれの観点から紐解いてみたい。 ～メッセージ～ さまざまな診療科から異なる視点で内分泌疾患を診てみましょう。	
	【呼吸器外科学】 原発性肺癌の中でも、リンパ節転移や周囲臓器浸潤・転移を伴う進行期のものについて取り上げます。 進行期の肺癌に対する治療は複雑で、症例によりいろいろな考え方があります。 今回は原発性肺癌に対する集学的治療について学んでもらおうと思います。 ～メッセージ～ 医学部を卒業する前に、改めて肺癌に対する治療を復習しておいてください。	

講義内容/ 学生へのメッセージ	【形成外科学】 糖尿病性足潰瘍の原因は、1. 末梢神経障害、2. 末梢血管障害（末梢動脈疾患）、3. 感染症であり、これらの病因が複雑に混在した病態である（神戸分類）。病態を把握して治療に臨み救肢を図り歩行を守る集学的治療を紹介する。 ～メッセージ～ 糖尿病性足潰瘍の病態や治療は本邦の医学教育にはない。飛躍的に増加している同疾患を紹介する。
	【泌尿器科学】 担癌患者はさまざまな既往歴を有することが多く、予想しない合併症がみられることがあります。今回は尿管癌に対する抗癌化学療法の導入数日後に心不全を発症した症例について解説します。 ～メッセージ～ 化学療法開始後、心不全発症の契機となった原因、治療について理解を深めましょう。
	【脳神経内科学】 筋力低下を主訴に来院された患者が神経筋疾患であることを、病歴、診察、生理検査などから推定していき、病巣診断、質的診断に到る過程を復習する。併存した縦隔腫瘍の質的診断と治療方針について学ぶ。 ～メッセージ～ 複数病気がある場合、lethalか、invasiveか、一方が他方に利するかどうかを考慮しましょう。
	【災害・救急医学】 熱傷は熱傷ショック期、refilling期、感染期、慢性期などの多彩な臨床フェーズをたどる集学的治療が必要な疾患です。気道管理、輸液蘇生、手術や局所治療、敗血症の認知と治療、そしてリハビリテーション。重症熱傷の救命は各診療科との協力が必要不可欠で、まさに病院の総合力が試されます。実際の臨床症例を通し、熱傷診療のエッセンスをお伝えします。 ～メッセージ～ 熱傷の基礎知識、症例提示、特殊熱傷の治療から最新の研究、国家試験過去問まで解説します。
	【産科婦人科学】 脳梗塞を契機に全身精査を施行したところ、Trousseau症候群、卵巣癌疑いとなり当院紹介となった症例を取り上げます。卵巣癌は血栓症合併の頻度が高く、その状態により治療法が左右されることもあります。また患者は結婚直後であり妊孕性温存を希望されたため、治療方針決定のためのプロセスについても解説します。 ～メッセージ～ 婦人科癌患者の妊孕性温存については常に十分な説明の上で治療方針を決定していく必要があります。一緒に考える機会になればと思います。
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）	【感染治療学】 心臓血管外科にて人工血管感染を診断したのちに、試行錯誤して診断が変わった症例についてどのように複数科でアプローチしたか、鑑別診断を立てたかを考えてもらいます。 ～メッセージ～ 外科内科の間の感染症診療について紹介します。
	準備学習・復習、関連科目情報等については、授業中に別途指示する。
	教科書・参考書等
成績評価方法と基準	各回のプリント 出席点

令和2年度6年次ユニオンレクチャー講義予定表

講義室:大講義室

回	月日(曜)/時間/担当	講義項目	関連講座
1	5月25日(月)	がんの集学的治療	放射線腫瘍科 食道胃腸外科
	15:40~17:10		
	腫瘍・血液内科学 船越 洋平		
2	5月26日(火)	膵内分泌腫瘍の診断と治療	糖尿病内分泌内科 肝胆膵外科
	15:40~17:10		
	消化器内科学 増田 充弘		
3	5月27日(水)	四肢の浮腫と筋力低下、体重増加を呈する症例 どうアプローチする？	呼吸器外科 病理診断学
	15:40~17:10		
	糖尿病内分泌内科学 山本 雅昭		
4	5月28日(木)	原発性肺癌に対する集学的治療	呼吸器内科 放射線腫瘍科
	15:40~17:10		
	呼吸器外科学 土井 健史		
5	5月29日(金)	糖尿病性足潰瘍(神戸分類)	糖尿病・内分泌・総合内科 循環器内科
	15:40~17:10		
	形成外科学 寺師 浩人		
6	6月1日(月)	抗癌化学療法中に急性心不全を発症した1例	循環器内科 糖尿病内分泌内科
	15:40~17:10		
	泌尿器科学 福田 輝雄		
7	6月2日(火)	筋力低下で発症した縦隔腫瘍の1例	呼吸器外科 腫瘍内科
	15:40~17:10		
	脳神経内科学 関口 兼司		
8	6月3日(水)	熱傷診療における集学的アプローチ	形成外科 皮膚科 リハビリテーション科
	15:40~17:10		
	災害・救急医学 大野 雄康		
9	6月4日(木)	脳梗塞を契機に診断に至った妊孕性温存の卵巣癌症例	脳神経内科
	15:40~17:10		
	産科婦人科学 長又 哲史		
10	6月5日(金)	人工血管置換術後の感染症	心臓血管外科
	15:40~17:10		
	感染治療学 大路 剛/海老沢 馨		

科目名：個別計画実習（18単位）

区 分	内 容	
学習指導教員 (コーディネーター)	役 職 氏 名	地域社会医学・健康科学講座（医学教育学分野） 特命教授 河野 誠司
	連絡方法	TEL：078-382-6599 E-mail:sjkawano@med.kobe-u.ac.jp
	備 考	
担当教員	役 職 氏 名	配布する「6年次個別計画実習～臨床実習の手引き」に記載する。
授業のテーマ	学生の自主性を重んじ、学生が主体的に考えた実習計画に沿った形で実施するものである。臨床実習のみならず研究室や海外での実習も対象とし、個々の学生に対して臨床系の教授または准教授がチューターとなり、その実習計画の内容を吟味し指導を行う。	
授業の到達目標	・医療チームの一員として診療に積極的に参画するクリニカル・クラークシップにより深い知識や診察スキルを習得し、卒後研修につながる臨床能力を獲得することを目標とする。 ・海外の実習では、外国での臨床実習または研究を通じて、異文化交流を深め、国際的な視野を獲得することを目標とする。 ・研究実習では、基礎研究に加えて臨床研究も対象とし、最先端の医学に触れ、サイエンスへの探究心を育むことを目標とする。 学内の診療科における実習の到達目標については、配布する「6年次個別計画実習～臨床実習の手引き」に記載する。	
授業の概要と計画	実習期間を大きく次の3つの期間（実習期）に分ける。 【第Ⅰ期】令和2年 4月 6日（月）～ 5月22日（金） 【第Ⅱ期】令和2年 6月 8日（月）～ 7月24日（金） 【第Ⅲ期】令和2年 9月 7日（月）～10月23日（金） 原則として実習期ごとに異なる実習目的（実習分野）を掲げることとし、各期において設定した実習目的に基づき、個々のチューターと相談しながら実習計画を策定・実施する。各期において実習報告日を設け、実習状況を報告・確認するとともに、全実習終了時には実習内容に関する発表会を行う。 学内の診療科における実習内容については、配布する「6年次個別計画実習～臨床実習の手引き」に記載する。	
成績評価方法	各期の実習指導医・教員が、実習評価表にて評価する。 チューターは、担当する学生のすべての実習評価表と各期ごとの学生からの報告をもとに、学生の全期を通した合否判定を行う。	
成績評価基準	・医療チームの一員として診療に積極的に参画するクリニカル・クラークシップにより深い知識や診察スキルを習得し、卒後研修につながる臨床能力を獲得できたか。 ・海外の実習では、外国での臨床実習または研究を通じて、異文化交流を深め、国際的な視野を獲得できたか。 ・研究実習では、基礎研究に加えて臨床研究も対象とし、最先端の医学に触れ、サイエンスへの探究心を育めたか。	
履修上の注意 (関連科目情報)	配布する「6年次個別計画実習～臨床実習の手引き」に記載する。	
事前・事後学修	自主学習を行い、幅広い知識と技能を身につけておくこと。	

オフィスアワー・連絡先	チューターと各自連絡をとること。
学生へのメッセージ	
今年度の工夫	
教科書	実習に合わせて、必要ある場合は、個別にお知らせします。
参考書・参考資料等	特になし
授業における使用言語	日本語
キーワード	
参考URL	

【別表】 チューター教員一覧

チューター教員名	教育研究分野名
平田 健一	循環器内科学
石田 達郎	循環器内科学 / 医学教育学
山下 智也	循環器内科学
福沢 公二	循環器内科学 / 不整脈先端治療学
児玉 裕三	消化器内科学
豊永 高史	消化器内科学
小林 和幸	呼吸器内科学
小川 渉	総合内科/糖尿病・内分泌内科学
西 慎一	腎臓内科学
森信 暁雄	免疫内科学
松本 理器	脳神経内科学
岩田 健太郎	感染治療学(感染症内科)
大路 剛	感染治療学(感染症内科)
佐々木 良平	放射線腫瘍学
飯島 一誠	小児科学
野津 寛大	小児科学
永瀬 裕朗	小児科学
曾良 一郎	精神医学
掛地 吉弘	食道胃腸外科学
福本 巧	肝胆膵外科学
木戸 正浩	肝胆膵外科学/低侵襲外科学
岡田 健二	心臓血管外科学
眞庭 謙昌	呼吸器外科学
田中 雄悟	呼吸器外科学
尾藤 祐子	小児外科
黒田 良祐	整形外科
酒井 良忠	整形外科／リハビリテーション機能回復学
谷口 理章	脳神経外科学
中村 誠	眼科学
丹生 健一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学
柿木 章伸	耳鼻咽喉科頭頸部外科学
井之口 豪	耳鼻咽喉科頭頸部外科学
寺師 浩人	形成外科学
原岡 剛一	形成外科学
溝渕 知司	麻酔科学
小谷 穰治	災害・救急医学
井上 茂亮	災害・救急医学
山田 勇	災害・救急医学
前田 英一	医療情報学分野
河野 誠司	医学教育学分野 / 総合臨床教育センター
岡山 雅信	地域医療教育学

科目名：医学研究（４）（４単位）

区 分	内 容
担当教員	各教育研究分野教員
授業のテーマ	1年次の新医学研究コース、2年次の基礎配属実習に続き、長期にわたって研究を行うことを希望する学生を対象として、3年次、4年次、5年次、6年次にそれぞれ医学研究（１）、医学研究（２）、医学研究（３）、医学研究（４）の４科目を選択科目として設定している。この科目は、学生の希望に基づいて基礎系、臨床系を問わず各教育研究分野に学生を配属させ、高いレベルの医学研究に従事するものとする。
授業の到達目標	到達目標は、配布する「医学研究要項」に分野別に記載する。
授業の概要と計画	教育研究分野の指導教員と相談のうえ、各分野の研究テーマに基づき実験、研究を行う。研究テーマは、配布する「医学研究要項」に分野別に記載する。
成績評価方法	① 1単位あたり30時間の実習従事時間を満たさなければならない。したがって医学研究（１）、（２）、（３）、（４）それぞれ、120時間、120時間、120時間、120時間を最低実習従事時間数とする。履修者は必ず実験ノートに実習内容と実習従事時間を記載し、定期的に指導教員は実験ノートをチェックし、実験内容と実習従事時間数を確認する。なお指導教員等の指導が得られる場合、週末、長期休暇等の実習も履修時間とみなす。 ② 医学研究（１）については3年次後期末までにA42枚以上の「研究論文」を作成し指導教員に提出する。医学研究（２）、（３）、（４）については、それぞれ4年次後期末、5年次後期末、6年次後期末に各分野で発表しなければならない。 ③ 評価は指導教員が期間中の学習態度、研究論文、発表等を総合して判定する。
成績評価基準	各教育研究分野で定めた到達目標により評価する。
履修上の注意 （関連科目情報）	配属を希望する教育研究分野の指導教員に内諾を得たうえで、決められた期限内に所定の申請書を学務課医学科教務学生係に提出する。
事前・事後学修	基礎配属実習に引き続いて、長期にわたって研究を行うことができます。
オフィスアワー・連絡先	各分野の連絡先は配布する「医学研究要項」、「基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成プログラム」ホームページにて確認ください。
教科書	進める研究内容に合わせて、必要ある場合は、個別にお知らせします。
参考書・参考資料等	進める研究内容に合わせて、必要ある場合は、個別にお知らせします。
授業における使用言語	日本語
参考URL	http://www.med.kobe-u.ac.jp/kiso